

おうみネット

2000・1

NO. 15

Ohmi Net

ボランティアについて 考える

トピックス

● 淡海ネット・コラム

今一度、真剣に考える…
このまちで暮らすということ

● スポットライト

滋賀県青年海外協力協会
ブライムスホール (栗東町)
木考塾 (木造在来工法住宅を考える会) (大津市)

● ネットワーク

伝言板1月・2月の活動団体情報
リレーエッセイ
Voice

● センターインフォメーション



「日本カロム協会」に参加して
子どもたちとカロムを楽しむおうみちゃん
詳しくはセンターインフォメーションを

ボランティアって
なんだろう？

お金をもらっては
いけないの？

どんな活動なら
ボランティアになるの？

TOPICS

ボランティア について 考える

何気なく使うこのボランティアという言葉、
皆さんはどのように考えていますか？

今回の特集は、龍谷大学助教授の筒井のり子さんと
大津市のボランティアコーディネーター 日花京子さん
お二人によるボランティアについての
対談をお届けします。

最近のボランティア情報

筒井 ●最近、福祉分野以外からも、ボランティアマナー・マネジメントについて学習会をしたという相談が増えていきます。国際交流協会や日本赤十字といった団体も、改めてボランティアの位置づけやボランティアとの協働を考えなおそうという時期に来て

いるようです。

日花 ●最近、学校からボランティア体験講座の企画・講師の派遣という話が、よくあります。体験講座の中で、子どもたちの生き生きとした姿に先生がびっくりされることもあるんです。体験はいいことだと思うんですが、みんな一斉にというのではなく、いろんなメニューから選択できれば、子どもたちも参加意欲をもって、満足できる学

習ができるのではと思っています。

筒井 ●福祉教育とボランティア体験、ボランティア活動がごっちゃにされている部分があるように思います。アメリカでも地域のいろんな団体に入って体験学習をしていますが、その場合、ボランティアではなく、コミュニティサービスという言い方をしています。教育の一環として地域のいろんなボランティア団体で体験学習することにはとても意味があることですが、それはボランティア活動と区別するべきでしょうね。今は、なんでもボランティアとつけられればみんなに受け入れられるという感じがあって、マスコミも、誤解を招く表現をしたりしています。教育とボランティア活動の違いをはっきり認識してプログラムをたてる必要があると思います。

日花 ●ボランティア体験することで、すぐに何かが変わることを期待する学校の先生や親御さんもおられて、受け入れ側の負担になっていることもあります。ボランティア体験するまでに、事前学習をしてもらえばと思います。

ボランティア活動とは

日花 ●ボランティア活動は自発的なもので、やれと言われてやっているのではありません。やっているうちに楽しくなるというのがそこにはあるのだと思います。

筒井 ●そこが一番大切ですね。自発的にするからもっと面白くしようと工夫するし、仲間を増やそうと呼びかけたりするし。本当にこんなことができるの？ということがだんだん実現したりして、それがボランティア活動の面白さにつながっています。

日花 ●ボランティア活動では頭を柔らかくして取り組んでほしいですね。既成概念にとらわれて、「かわいそう」と思ったり、他人の生き方の評価をするのではなく、いろんな生き方があって当たり前と考える活動してほしいです。長年ボランティア活動

することで固定観念にとらわれたり、人間関係を固定してしまわないで、新しい人・新しいことと出会うことでまた何かが変わるかもしれないという柔らかい頭で活動することが大切だと思います。

有償？ 無償？

日花 ●活動の中には、送迎サービスのようにある程度受け手の費用負担がないと出来ない活動があります。逆に頼む方もある程度の対価を支払った方が頼みやすいこともあります。少し前までは、ボランティア活動はお金に裕福な人しか出来ないというイメージがありました。世の中の認識も少しずつ変わりましたが、人も増え、あくまでも無償という考え方にこだわる人も少なくなってきたのかかも知れませんね。

筒井 ●私は、有償・無償についてはきちんとわけて考えた方がいいと思っています。実費としてお金をもらうのは無償の範疇にいられています。実費以外の労働対価をもらった場合は、有償だと考えています。交通費をもらっても有償だと言う人もいて、まず、そのあたりはきちんと議論しないとダメです。有償活動・無償活動の両方ともが、自発的な市民活動なわけですが、90年代になり、非営利活動という概念が入ってきて随分整理されてきたのではないかなと思うんです。同じボランティアな市民の活動の中に、労働対価をもらわないものとももらうものがあり、家事や介護など日常生活に欠かせないものなどは、事業化して労働対価をもらった方が、すっきりすると思います。労働対価をもらうタイプのもものは、私はボランティア活動と呼びません。基本的には、海外でも労働対価をもらわないものがボランティア活動という位置づけになっています。

日花 ●無償活動の場合、当然頻度は少なくなり、毎日必要なサービスには、無償

淡海ネット・コラム



谷口浩志
(たにぐち・ひろし)

たかしま六郷塾代表
(財)淡海文化振興財団
運営会議委員

今一度、真剣に考える… このまちで暮らすということ

私の住んでいるマキノ町は、全国でも珍しいカタカナの名前を持つ町です。滋賀県に住んでいる人でも、マキノ町には行ったことがないという人もおられるかもしれませんね。もしかすると、こどもの頃に学校からスキーに行ったという人もあるかもしれません。そんなマキノ町は、琵琶湖と、福井県境をなす山々が織り成す、四季の自然が大変すばらしいところです。

私が参加しているマキノ自然観察倶楽部では、マキノ町の自然のすばらしさを、町内外の人々に少しでも楽しみ、また、自然の大切さを知って、自然との接し方を考えていただく場として、いろいろな機会を通じて勉強会や催しを企画しています。

赤坂山の山野草、メダカの観察から星空観測、ネイチャーゲーム、バードカービングや蔓を使ったリースづくり、水鳥観察会に雪中ハイキングなど、時間を忘れて自然と触れ合ってもらえるように、いろいろ工夫を凝らしています。

また、たかしま六郷塾は、活動範囲を高島郡5町1村に広げ、それぞれの町や村でまちづくりに活躍しているメンバーが集まって、広域のまちづくりを考えていこうというグループです。やはりメインテーマは自然や環境問題が中心となりますが、教育や福祉の問題についても話し合いを進めています。この地に住んでいながら、地元について知らないことが多いため、まだまだ勉強の連続ですが、広域でこそ考えられるような活動を模索しているところです。

個人的に、NPOとの関わりは、まちづくりから出発しましたが、今は物質文明や消費社会といったまさに20世紀を象徴するような生活への反省も含めて、住まいにおける環境とは何かをテーマに勉強しながら、さまざまな活動を考えられています。今、社会は病んでいるといわれますが、より良い生活を求めつづけてきた社会が、どこで道を間違えたのか、何が問題だったのか。いまや生活の場が地球という時代になりましたが、暮らすということについてちょっと真剣に考えています。

のボランティアではまかないきれないところがありますね。
筒井●やはり毎日必要なサービには、それを事業化したNPOときちんとサービ提供の契約を結ぶことが必要ですから、いろんなNPOがもつとできてくれればいいと思います。
日花●またボランティア活動は、人間と人間のつき合いなので、そこがうまく行かないと進まなくなります。初対面では気を使っているけど、回数が増えてくるといろんな問題が生じてくる場合もありますから。

ボランテア団体？NPO？

筒井●大きく言えば、ボランティアグループもNPOで、独立した非営利の自発的な団体ですが、一般的なイメージとしては、NPOの場合、事務所をかまえて、有償の活動をして、有給のスタッフを抱えているというタイプと組織であり、ボランティアグループと組織のタイプがすこし違います。それぞれの組織がどういうことを目指すかが大切です。専従のスタッフを置いて継続的な事業をしたいというグループは組織化をきちんとすることが必要になります。

筒井●人を雇用し、資金も集めるための方策も考えるということですね。
筒井●法律ができ、そのあたりをいろんなグループが見直す機会になったのはいいことではないかと思っています。
日花●ボランティア団体は一緒に集まっても何かできたらいいという気軽さがあるように思います。一方、その中から、生活をしっかりと支えていこうという意識を強く持ち、ボランティア活動ではできないことを何とかしたいと、法人化も含めてNPOを検討していくところもあります。

筒井●いろんなタイプがありますよね。一時、NPO法人をとらないといけないみたいな風潮もありましたが、どっちが上とか下とか全然なく、それぞれの活動目的に応じた組織のタイプを選択していくということですね。

これからの課題

日花●身近に高齢問題があることもあり、以前と比べて、福祉のボランティアの関心は高まっています。昨年、大津の福祉マップづくりをしたのですが、前回のときと比べて



筒井のり子さん Noriko Tsutsui

龍谷大学社会学部地域福祉学科助教授
『月刊ボランティア』(社福)大阪ボランティア協会発行 編集委員
関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程を修了
著書:『地域福祉実践の課題と展開』(共著)/
『施設ボランティアコーディネーター』

筒井●次の課題としては、NPOとボランティアの関係だと思っています。ボランティアが法人格をもったときに、有給職員とボランティアの関係や、NPOが活動する中で、どのようにボランティア

べて企業の対応も違いました。社会も人も優しくなっていて、もつとボランティアに参加する人が増えていくのではないかと思えます。それは福祉分野以外にも言えることかもしれませんね。



日花京子さん Kyoko Hibana

ボランティアコーディネーター
(社)大津市社会福祉協議会 大津市ボランティアセンター
短大時代にボランティアサークルを経験
平成2年に大津市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターの仕事につき現在9年目

切だと思っています。その場合、参加することでボランティアが受けるもの、得られるものはなんだろうということを考えていることが必要になってきますね。

アとの関係づくりをしていくかが今後の課題になるのではないのでしょうか。いろんな市民の人の共感を得て、支援をうけてやっていくことがNPOの存在意義でもあるので、その具体的な方法としてボランティアと一緒にやっていくことはとても大切だと思っています。

スポットライト

環境・福祉・まちづくり…、滋賀県内外でキラキラ元気に活動されている方々にスポットライトをあて、その活動を詳しく紹介します。



自分たちの知識や経験を地域に還元

関心を持つ人々がもつと気軽に集えるように…

滋賀県青年海外協力協会は、青年海外協力隊に参加した滋賀県在住者で組織された団体です。各都道府県に同様の組織があり、滋賀の会員は約120名。青年海外協力隊の募集や説明会への協力の他に、JICAの開発途上国の技術研修生との交流や国際理解教育や人権問題などについて講師の派遣をしています。また春と秋には帰国者報告会や活動報告のパネル展を開催。去年からは、海外協力のボランティア活動に関心をもつ様々な人々がオープンに集えるようにと青年海外協

会長の木造さん



◀会長の木造さん

力隊滋賀県OB会から滋賀県青年海外協力協会と改名しました。会長の大塚成尚さんは、87年から2年間、ネパール国に理科教師としての派遣経験があります。「教えることについては、日本の子どもたちからネパールの子どもたちを対象が変わったぐらいの感じでした。でも、そこでの生活は、いろんな世界があることを自分に教えてくれました。もの見方がぐっと広がった気がします」

現地の人と共に過ごし新しい自分を再発見

青年海外協力隊とは、政府開発援助（ODA）の一事業として、アジア・アフリカ・中近東・中南米・大洋州・東欧など世界各地の開発途上国に、技術ボランティアとして青年を派遣し「草の根協力」を行う団体です。

「現地の人々と同じ言葉を話し、同じ所に住み、同じものを食べ、生活をともにすることで、隊員たちは、自分自身を再発見し、心の中に多くのみやげを得て帰国します。その知識や経験を自分たちの地域に返していければ」と大塚さん。異文化理解・人権教育・多文化・相互共生など、今の国際社会のテーマを実体験に基づき言葉で語りかける活動をしています。

滋賀県青年海外協力協会

〒520-2145 大津市大將軍17-37
TEL・FAX 077-544-5341
会長 大塚成尚 人数 約120人
活動区域 滋賀県内 設立 1977年

（事務局）
福田千佳子



交流会の様子

音楽文化のすそ野を広げるため 気軽なコンサートを



日本の風土には 木造住宅が一番



水口文化芸術会館にて
「歌の贈り物」▶



私設ホールで地域の方々にクラシックの調べを
栗東町の国道1号線の近くにある、クラシックなどの演奏会が開かれるブラームスホール。運営しているのは主婦であり、母でもある声楽家の萩野美智子さん。

12年前に生まれた私設のホールながら、国内外の一流演奏家のコンサートを開催し、地元の演奏家に活動の場を提供して来ました。「多くの人にクラシックの良さを知ってもらい、生の音楽にふれてもらいたい」とプロデューサーでもある萩野さん。同ホールでのコンサートのほか、県内各地での出前コンサートや国際交流、優秀な演奏家の輩出、情報発信をしてきました。地域の人々に気軽に楽しんでもらえるようにと試行錯誤を重ねながら、約600回のコンサートを開催。

▼代表の萩野さん



そろそろ一人立ちの時期!?
NPO法人化を視野に
2000年を迎え、萩野さんは、そういった活動をNPOの法人化にすることを考えています。「我が子のよう」に思ってきたブラームスホールですが、そろそろ「子離れ」の一人立ちの時期

ブラームスホール

〒520-3047 栗太郡栗東町手原8丁目1-2
TEL 077-551-2455・FAX 077-551-2456
代表 萩野美智子 会員 300人
活動区域 滋賀県内 設立 1987年

「回数を重ねないと聴衆も演奏家も育たないと思うんです。『今日は何が聞けるのかな』といつでもぶらりと行ける、日常的なそんな気軽なコンサートがいいと思います」音楽文化のそのをを広げる、湖国の新しい音楽文化を育てる、萩野さんはじめブラームスホールスタッフの新たな試みは続きます。
(編集ボランティア 松井由美子)

▼「歌の贈り物」
リクエストコンサート



が来たのかも少し
れません。音楽
事業のNPOの
法人化の例はな
く、不安もありますが、音楽文化を広める
ため、音楽家を育てる場を作るためという
活動を続けるには、個人ではなく、その取
り組みを多くの人が支援する仕組みが必要
だと思っんですよ」そして法人化はその最
初の一歩だ。

ブラームスホールでは、小屋的、ライブ的な音楽会の開催を試みています。「回数を重ねないと聴衆も演奏家も育たないと思うんです。『今日は何が聞けるのかな』といつでもぶらりと行ける、日常的なそんな気軽なコンサートがいいと思います」音楽文化のそのをを広げる、湖国の新しい音楽文化を育てる、萩野さんはじめブラームスホールスタッフの新たな試みは続きます。
(編集ボランティア 松井由美子)

**実地見学や実験など
体験を通じて学習を重ねる**

日本の風土に適している木造住宅の知恵をいかしたサステイナブルハウスを目指して勉強しよう。これが木考塾の設立趣旨です。「手を加えれば長持ちするはずの住宅が、日本では10年から15年という短命で壊されるのは、資源とエネルギー両方の無駄使いです」と、代表の岩波正さんは、生活を築き始める、本当に環境のことを考えた住宅づくりがされていない日本の現状を見直すためにこの活動を始められました。会員は、建築学科の先生、工務店や材木屋を営む方、設計士、大工等の職人さんなど住宅建築に関わる専門家54人。月に1回、木の材質、住宅と環境、耐震性・構法について、定例会・分科会を開き、実地見学や実験など、体験を通じて勉強を



重なっています。住まい手の喜ぶ笑顔と知識・技術の向上を目的に、造り手の互いの立場を理解し合いながら相互研鑽を重ねる会合は、常に会員の7、8割が出席しているとか。
施主・設計者・施工者それぞれに知恵と熱意を出し合って
最近の日本では、様々な材質が使われた住宅が増え、シックハウス症候群などの問題も起こってきました。「日本には木造住宅が一番だと思うのです。木造在来工法で今の人が望む住宅をつくることは可能です。住み心地と環境への配慮を実現した住まいづくりには、目先の問題解決ではなく、伝統的な日本の知恵・知識を見直し、施主、設計者、施工者三者が一体となって考えていくことが大切です」環境に、人に優しい住宅を造ろうという専門家の熱意に、私たち住まい手側も見た目だけではなく住宅本来の良さと性能を考える時期が来ていると感じました。
(編集ボランティア 西尾久美子)

木考塾(木造在来工法住宅を考える会)

〒520-0006 大津市滋賀里4丁目11-3
TEL 077-525-5609・FAX 077-528-5460
代表 岩波正 人数 54人
活動区域 滋賀県内 設立 1998年

体験を交えた
「木の学習 分科会」の
様子 ▼▶▶



代表の岩波さん▶

日時・場所・
問合せ先等を
明記の上、
FAXまたは郵送で
センターまで
お寄せください。
(2月10日締切です)

**フォーラム
「市民が担う
2000年時代の滋賀の
地域経営戦略を考える」**

1/21 [全] 19:00~
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●2000年時代の滋賀の地域経営・戦略についてワークショップ形式で語り合います
定員●40名先着順
〆切り●1/17 [月]
参加料●500円
問合せ●077-562-3526
077-586-1137
同実行委員会事務局/児島
(E-mail:utopia21@mx.biwa.ne.jp)

**エンパワーメントセミナー
自分らしさのセカンドライフ**

1/22 [土] 13:30~15:30
場所●県立女性センター 大ホール
内容●講演とワーク、自分らしく生きてみたいそのシナリオを描いてみませんか。主役はあなたです。
問合せ●077-553-0705 田村
077-587-0811 野崎
県立女性センター施設ボランティアひまわり会

木考塾 定例会のお知らせ

1/23 [日] 13:30~16:30
場所●ピアザ淡海 305会議室
講師●酒井哲夫氏(株式会社日本林業経済新聞社専務取締役、「木のこころ」編集長)
内容●「環境と木と家づくり」
参加費●正会員 無料
その他 2,000円
問合せ●
TEL 077-525-5609 FAX 077-528-5460
木造在来工法住宅を考える会

**茜トークサークル 第57回例会
「死をどう生きるか」part2**

1/29 [土] 13:30~16:00
場所●大津市生涯学習センター
内容●テーマ「死をどう生きるか」
参加費●500円
問合せ●077-522-6897
茜トーク事務局/木下

松下幸之助の知恵に学ぶ

2/1 [火] 19:00~21:00 (開場18:30)
場所●ひこね市文化プラザ エコホール
講師●江口克彦氏 (PHP研究所副社長)
定員●340名先着順
入場料●前売り1,000円
問合せ●
TEL 0748-22-0788 FAX 0748-22-8380
多賀大社文化振興基金 創世塾「陽転の会」/北川

**ぐるうぶ“きび”フォーラム-
世界とつながる
こどもとつながる**

2/5 [土] 13:30~16:00
場所●県立女性センター 視聴覚室
内容●私たちに出来る国際ボランティアについて話し合います。
問合せ●0748-36-6343
ぐるうぶ“きび”/渡辺
(E-mail:CZS03136@nifty.ne.jp)

**森 章吾氏 講演会IN草津
子どもの叱り方**

2/11 [全] 14:00~15:30
場所●草津コミュニティ支援センター2F
内容●子どもは必要ときにふさわしい方法で叱らなくてはなりません。子どもの叱り方についてみんなで考えましょう
定員●30名
参加料●1,500円
問合せ●077-546-4147 黒川
(E-mail:y-kuro@mx.biwa.ne.jp)

**みんなで語ろう!! 井戸端会議
「男と女のパートナーシップ」
~男女共生の職場から見えてくること~**

2/19 [土] 13:30~16:00
場所●野洲町立中央公民館 第1集会室
内容●従来、女性の職場とされてきた看護・介護・幼児教育・保育の分野で仕事をしておられる男性4名を語り部として意見交換をする
問合せ●077-588-0668
野洲町女性問題を考える会(つづじの会)/伊藤

カウンセリング勉強会

第2水曜 18:30~21:00 第4木曜 10:00~12:00 ひこね燦ばれず/第3水曜 10:00~12:00 大津生涯学習センター/第1土曜 13:00~16:00 (1/16 [日]のみ9:30~12:00) 志賀町民センター
内容●家庭内で「お父さん」、「お母さん」がカウンセラーに
参加費●500円(初回無料)
問合せ●0794-27-0313
マザーカウンセリング協会/比佐野

一緒に楽しみませんか?

**滋賀県教育委員会他後援
こどもスケート教室**

1/18 [火]・21 [全]・25 [火]・28 [全]
17:00~19:00 (全4回) (彦根YMCA集合)
場所●彦根スケートリンク
内容●技術別少人数グループで楽しく安全にスケート技術を学ぶ
参加料●6,500円
問合せ●0749-23-1646
(財)滋賀YMCA/斎藤
(E-mail:sigaymca@pop.biwako.ne.jp)

餃子作りと春節交流会

1/23 [日] 9:30 餃子作り 12:00 交流会
場所●彦根市民会館2F料理室・会議室
内容●中国留学生・研修生と本場の餃子作りと春節(旧正月)交流会
参加料●2,000円 学生1,000円(要予約) 留学生招待
問合せ●0749-22-3737
彦根市日中友好協会/宮下

**科学遊び
「ヨーヨー風車づくり」**

1/23 [日] 13:00~15:00
場所●大津市立図書館 多目的室
内容●ヨーヨー風車を牛乳パックを使って作ります。
持ち物●箱のままの牛乳パック2コ/はさみ/ものさし/鉛筆/黒マジック(太め)
定員●50名先着順(要申込み)
問合せ●077-523-2104
大津市文庫交流会/岡村

川柳「弦」句会

1/30 [日] 13:00~17:00
場所●朝日新聞大津支局 会議室
内容●川柳作品の作句と合評
参加料●500円
問合せ●0748-75-2659 平賀

**身近な自然を楽しみましょう
-第2回**

2/6 [日] 9:00 京阪膳所本町駅出発
9:40 御用池出発
内容●冬の樹木を木の専門家と一緒に観察しましょう
問合せ●077-526-2090 (FAX兼)
相模川上流の自然を愛する会(仮称)/山崎
(E-mail:yamasaki@pop.biwako.ne.jp)

天体観望会

毎週土曜日 19:30~21:30
場所●ダイニックアストロパーク天究館
内容●県内最大の望遠鏡で宇宙の神秘を楽しんでいただけます。
参加料●大人200円 小人100円
問合せ●0749-48-1820
ダイニックアストロパーク天究館

**みんなで耕す小学校
「草の根農業小学校」**

3月下旬~11月まで
場所●栗東教室、朽木教室
内容●無農薬、無化学肥料で、約20種類の野菜を栽培します
参加料●グループ、家族で年間35,000円
問合せ●077-558-0339
農業小学校をつくる会/関田
※お昼の副食は、いつもみんなで調理します。オニギリだけ持って参加して下さい。

**ヒマラヤン・グリーン・クラブ
国際ボランティア隊員募集**

期間● A班 3/20 [月]~4/7 [金]
B班 3/20 [月]~4/10 [月]
C班 4/3 [月]~4/28 [金]
D班 4/7 [金]~5/5 [金]
※7月中旬から8月の約1ヶ月間、樹木生育状況調査、保険医療、教育活動などを予定
場所●パキスタン北東辺境地域
内容●(1)植林 ポプラ、ヤナギ、果樹等の植樹(学生・一般)(2)教育 女性の手芸指導、衛生指導(学生・一般)(3)医療 健康診断、疾病治療(医師・看護婦・医大生)(4)自然エネルギー 発電・簡易浄水道工事等(専門家・一般)
参加費●30万円前後(学生は多少援助あり)
問合せ●
TEL077-534-0911 FAX077-534-0984
ヒマラヤン・グリーン・クラブ/遠藤
http://www.biwa.ne.jp/
h-nakai/himalayan.html

アラスカ・オーロラ・キャンプ

3/26 [日]~4/1 [土]
場所●アメリカ/アラスカ
内容●オーロラ観測、犬ぞり体験、クロスカントリースキーなど
参加料●315,000円
問合せ●0749-23-1646 彦根YMCA
(E-mail:sigaymca@pop.biwako.ne.jp)

こんな活動をしています

「らくだ」外出支援実績報告

外出したくてもできない障害者やお年寄りの外出をマイカーで支援しようと、外出支援ボランティア大津「らくだ」を設立。活動が知られるにつれ、利用申込みが急増し、本年度4月~9月の間に605件、スタッフも13人から26人になりました。活動内容は、最寄りの駅までの送迎、病院への送迎、観光など様々で、1時間300円頂く有料ボランティアですが大変喜んでいただき、喜ばれることが励みになり、一緒に楽しんでいます。医療関係への利用が多いのですが、今後は当初の目的であった「社会参加」のための外出支援に力の配分を少しずつ変更していきたいと考えています。
問合せ●077-525-9316(大津市社会福祉協議会内) 外出支援ボランティア大津「らくだ」/磯谷

仲間と子育てを 楽しみましょう

ママさんはうす 稲田 静美
(竜王町)

子どものこととなると、まるで自分のことのように悩んでしまいませんか。私も初めての育児、特に赤ちゃんの頃は不安だらけでした。よく、「今の時代、ものは便利になったし、育児情報もあふれていていいね」と言われますが、本当にほしいのは、地域の遊び仲間や自然、もっと身近な情報。夜泣きやトイレットトレーニング、反抗期がずっと続くわけないし、子どもだって嘘つきで、寝る子は育つと言っても、ね。育児の悩みのほとんどは、お母さん同士で解決できるんです。そして、ずっと一緒にいるからと、我が子のことを全て分かっているように見えていないことだってあります。私にとって、今一番あ

手から手へ 11 リレーエッセイ

りがたいことは、賢い時も悪い時も、私の知らない娘の様子をそっと教えてくれる子育ての仲間がいることでしょうか。『ママさんはうす』では、毎月会報を発行し、交流会やフリーマーケットを開いています。

次回は「おつみフリーマーケット」実行委員会の九里学さん(栗東町)です。お楽しみに。



「ママさんはうす」
稲田 静美
(竜王町)



ご意見やご感想、市民活動について
思うことなど、どんどんセンターへ
お寄せください。

淡海ネットワークセンターへ
ひとこと

●おつみネット14号で助成金制度について意見がありました。私、はじめに資金ありではないと思えます。目的を具体化するの、人の力、知恵の結集であって、サポート役として淡海ネットワークセンターがある、つまり点から線に結ぶ役割としてとらまえています。またパートナーシップの基本はバランスであり、一例ですが、私たちは行政が人材育成を担い、市民が受けて、小さな子育て支

援グループを立ち上げました。『子育てサポートおつみはちまん・すくすく』と言います。志を同じくする人たちで出資して運営を行い、NPOの視点で、非常利活動を展開しています。私は、淡海ネットワークセンターに、ネットワーク情報発信拠点としての機能充実を望んでいます。

以上、伊藤幸枝(近江八幡市)さんからのご意見でした。ありがとうございました。

伝言板

1月・2月

イベント等に
参加された感想も
お待ちしております。

こんなことしま〜す

阪神大震災から5年 一心と心つなぎつけてー被災外国人支援 チャリティーコンサート

1/15 [土] 13:30~(開演14:00)
場所●ひこね市文化プラザ エコホール
内容●各国就・留学生助け合いの会「アジア・アフリカミュージカルチーム」によるチャリティーコンサート
チャリティー協力券●3,000円
問合せ●0749-23-5517
ひこね国際交流会VOICE事務局/丹下

伊呂波会新春狂言会

1/15 [土] 12:00~19:00
1/16 [日] 10:00~16:00
場所●大津市伝統芸能会館
内容●狂言師木村正男社中のメンバーが、彦根、京都、大阪、東京から集まる。京大、同志社の学生の狂言も同時に発表
問合せ●0749-37-4323
(E-mail:hotaozaw@mx.biwa.ne.jp)
小沢

大津おやこ劇場 第106回例会 「キマグレサーカス」

1/22 [土] 1回目) 15:00~16:15
2回目) 18:00~19:15

場所●ピアザホール
内容●「どん亀座」が送る、サドルの無い一輪車など、楽しい芸と笑いのスペクタクル
入場料●3,000円(4歳以上)
問合せ●077-525-4578
大津おやこ劇場/町野
※会員募集中:
入会金200円、会費900円/月

草津・栗東おやこ劇場 第103回低学年例会 「100万回生きたねこ」

1/23 [日] 13:30~14:30
場所●栗東町立治田西小学校体育館
内容●佐野洋子さん原作、劇団たんぼ公演
入場料●前売り 3,200円 当日 3,500円
※入会は1,200円(4歳以上)
問合せ●077-564-2847
草津・栗東おやこ劇場

フォークグループ紙ひこうき15周年記念 FLY TO YOUR HEART One Coin Concert

1/30 [日] 15:00~
場所●野洲文化ホール 大ホール
内容●テーマは「子どもたちにあの素晴らしい愛をもう一度1999」
視力にハンディを持ちながらも、笑顔あふれるメインボーカルの増田こま江さん。彼女の歌声と語り皆さんに深い感動を届けます。価格は後決め、チケット料金はあなたが決めてください。
定員●1000名先着順(要整理券)
問合せ●090-8572-3457
「紙ひこうき」広報担当/今井

青年海外協力隊冬のパネル展 & 第8回帰国隊員報告会

パネル展
2/14 [月]~25 [金] 9:00~15:00
(土・日・祝日は休み)
場所●滋賀銀行彦根駅前支店
帰国隊員報告会
2/26 [土] 14:00~17:00
場所●彦根勤労福祉会館
内容●パネル展では途上国の人々とともに、若い汗を流す隊員の姿を多数紹介。報告会では言葉も文化も異なる人々との仕事や生活などの体験報告、その他ありのままの途上国をお伝えします。
問合せ●077-528-3061
滋賀県総務部国際課青年海外協力隊
プラザ・淡海/坂下

一緒に考えませんか?

生き方研究会 滋賀交流会

1/16 [日]・2/13 [日] 13:30~16:00
場所●ウイングパレス草津
内容●幸せで健康な生き方についての勉強会
参加料●500円(会場費等)/初回無料
問合せ●0748-48-4262
生き方研究会 滋賀交流会/松井

草津コミュニティ支援センター プラッサ ビデオ&トーク

1/19 [水] 13:00~
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●「アジア太平洋地球女性会議」報告
参加料●300円(お茶付き)
問合せ●077-563-0932
草津コミュニティ支援センター

第3回おうみ市民活動交流会のお知らせ

第3回おうみ市民活動交流会

様々な分野で自主的な活動に取り組む団体やグループが集い、活動を進める上での知識やノウハウを交換・交流し、またネットワークを形成することを目的に開催します。

- **日時** 3/5 (日) 13:30~16:30
- **場所** 滋賀県立女性センター (近江八幡市)
- **内容** 基調報告と分科会

基調報告

「人も元気・活動も元気・地域も元気の3元気になるためには」(仮題)
報告者：安藤周治さん (ひろしまNPOセンター副会長)

分科会

分科会での事例発表は、一般に広く募集して行います。

第1分科会「情報ネットワークとネットワーキング」(仮題)

コンピューターネットワークや人と人とのつながりであるネットワーキングの関係を市民団体の情報発信と絡めて議論します。

第2分科会「なぜ法人化するのか、法人化しないのか」(仮題)

特定非営利活動促進法が施行されて1年。NPO法人や法人化していない団体の現状や課題を聞きながら、市民団体のめざす方向を議論します。

第3分科会「資金を確保するための方策を探る」(仮題)

市民活動団体が活動していく上での資金獲得の手段、方法、資金提供者との関係などを議論します。

フリートークサロン 自由参加、3,000円

- **お問合せ** 電話、FAX、E-mailで淡海ネットワークセンターまで

淡海ネットワークサロン参加者募集

気軽に交流
しませんか?

今回のサロンはピアザ淡海で開催します。参加費はお茶代として200円です。先着20名です。興味のある方はお早めにセンターまでお問合せ下さい。

地域・活動の情報を受発信 ~ミニコミ紙づくりについて~

日時 ● 2/5(土) 13:00~15:00

ゲスト ● 池田 陽子さん
(ミニコミ紙「無憂の郷」主宰)

共催 ● 日本消費生活アドバイザー
滋賀ネットワーク

フリーマーケットでの交流 ~魅力あるスペースづくり~

日時 ● 1/28(金) 19:00~21:00

ゲスト ● 九里 学さん
(おうみフリーマーケット実行委員会)

共催 ● LARDO CLUB 57
ネットワーク

フォーラムのお知らせ

企業と市民団体とのパートナーシップを考えるフォーラム 「私たちはその市民でありたい」

~企業等と市民活動団体とのパートナーシップを組むための課題を探る~

身近な地域で企業等とNPOが、共に市民として対話し協力し、いかに協働しあえばよいか。“その市民として共に協働しあえる良きパートナー”となる方策を企業等と市民活動団体を交えて探っていきます。

日時 ● 1月20日(木) 13:30~16:30

場所 ● ピアザ淡海2F
定員 ● 100名先着順

基調講演 13:35~14:05

「いま 熟してきた 市民としての協働」

講師 ● 田代正美氏 [(財)経済広報センター総務部長兼国際広報部長]

パネル・ディスカッション 14:15~16:30

「淡海の地で実を結ぶ協働の仕組みづくり」

パネリスト ●

依光 勇夫氏 [関西日本電気(株)取締役支配人]

辻 純 男氏 [(株)びわこ銀行業務部主任推進役]

藤井 絢子氏 [滋賀県環境生活協同組合理事長]

西尾 久美子氏 [(財)淡海文化振興財団運営会議委員・

日本消費生活アドバイザー・滋賀ネットワーク代表]

田代 正美氏 [(財)経済広報センター総務部長兼国際広報部長]

コーディネーター ● 仁連 孝昭氏 [(財)淡海文化振興財団運営会議座長
滋賀県立大学環境科学部教授]

※ 参加された方にはアンケート調査の結果をお渡しします。

ブックレットNo.9発行 新刊

わくわく市民活動セミナーの記録をまとめた淡海ネットワークセンターブックレットNO.9を発行します。

[NPOと市民社会~介護保険制度を通じて考える~] (ケアセンター・やわらぎ 石川江氏) 1冊300円(送料別)です。ご希望の方はセンターまで。

1・2月号の表紙

お正月はどんな「遊び」をしましたか?彦根では昔から、コタツでカロムを楽しむ家庭がたくさんあります。「カロム」とは、大正末期から昭和初期にかけて日本に伝えられたとされるボードゲームですが、今では彦根地方にしか残っていません。このカロムを、地域ストックとして(社)彦根青年会議所が目にしたのが、今から12年前。簡単なルールで誰でも楽しめるゲーム競技として、「カロム日本選手権大会」を毎年開催。そして昨年11月には、「日本カロム協会」を設立。全国各地にカロムを普及すべく活動しています。最近では学校や公民館、老人会などで大会が開かれ、ますます注目度が高まってきています。一度やったら誰もがとりこになってしまうカロム。カロム盤の貸し出しもやっていますので、是非一度挑戦してみてください。お問い合わせは、日本カロム協会(社)彦根青年会議所内、tel (0749) 22-7522 fax (0749) 22-9018 URL <http://www3.biwako.ne.jp/~carom> e-mail carom@pop.biwako.ne.jp

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今回の特集は、センターにボランティアについて寄せられたメールがきっかけです。最近、ボランティアという言葉がすっかり市民権を得て、様々な場面で使われていますが、それによる誤解も多いと思います。そのことはNPOという言葉にも言えることかもしれません。ですが、いろいろと使われていく中で整理されていくものではないかと思えます。これからいろいろ

と皆さんと考えていきたいと思えますので、今回の特集について何かご意見・ご感想がありましたら、ぜひ淡海ネットワークセンターまでお寄せください。また「こんな特集をしてほしい」というご要望もお待ちしております。次号の発行は3月1日です。3月は、女性センターでおうみ市民活動交流会をします。たくさんの方とお会いできるのを楽しみにしています。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net>

E-mail: ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時 ● 月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)

火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

